



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,831	△42.4	△272	—	△270	—	△213	—
2020年3月期第1四半期	4,914	47.0	300	—	282	—	104	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △149百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 109百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△16.77	—
2020年3月期第1四半期	9.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	13,116	4,818	36.7	378.17
2020年3月期	14,791	5,078	34.3	398.64

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,818百万円 2020年3月期 5,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の期末配当予想については未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

除外 1 社 (社名) レシップエスエルピー株式会社

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	14,178,200株	2020年3月期	14,178,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,437,079株	2020年3月期	1,439,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	12,740,333株	2020年3月期1Q	11,353,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。なお、詳細については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の落ち込みが続くなど急激に悪化し、今後の先行きについても不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートいたしました中期5か年計画「CA2020」の重点課題である「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」「育成分野への経営資源のスムーズな移行」「海外ビジネスの黒字化」「業務プロセス改善による生産性の向上」の4つの課題に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、輸送機器事業、産業機器事業ともに前年同期実績を下回り、売上高は28億31百万円（前年同期比20億83百万円減、42.4%減）、営業損失は2億72百万円（前年同期比5億73百万円減、前年同期は3億00百万円の営業利益）、経常損失は2億70百万円（前年同期比5億52百万円減、前年同期は2億82百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億13百万円（前年同期比3億18百万円減、前年同期は1億4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は17億57百万円（前年同期比17億18百万円減、49.4%減）、営業損失は2億15百万円（前年同期比4億83百万円減、前年同期は2億68百万円の営業利益）となりました。

市場別の売上高は、バス市場が11億77百万円（前年同期比16億90百万円減、58.9%減）、鉄道市場が4億2百万円（前年同期比28百万円増、7.5%増）、自動車市場が1億77百万円（前年同期比56百万円減、24.1%減）となりました。

バス市場につきましては、車載用液晶表示器や路線バス運行支援ユニット「LIVU (LECIIP Intelligent Vehicle Unit)」などの売上は増加したものの、首都圏バス用ICカードシステムの更新需要の一巡により、バス用運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が大きく減少いたしました。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による業界全体の設備投資マインドの冷え込みもあり、バス市場向け製品全般の売上が伸び悩んだ結果、減収となりました。

鉄道市場につきましては、米国の鉄道車両用灯具の売上は減少したものの、国内の鉄道車両用灯具や液晶表示器などの売上増でカバーし、増収となりました。

自動車市場につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴うトラックメーカー様の生産調整の影響により、トラック用灯具の売上が減少し、減収となりました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は10億62百万円（前年同期比3億65百万円減、25.6%減）、営業損失は42百万円（前年同期比87百万円減、前年同期は44百万円の営業利益）となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が4億51百万円（前年同期比1億24百万円減、21.6%減）、エコ照明・高電圧ソリューション市場が1億49百万円（前年同期比25百万円増、20.5%増）、EMS市場が4億62百万円（前年同期比2億66百万円減、36.6%減）となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、2021年1月から予定されている一般照明用高圧水銀灯の製造及び輸出入の禁止（「水銀に関する水俣条約」）を受け、道路灯や街路灯、工場天井灯などのLED照明化が進むなか、直管型LED照明灯具の売上が増加し、増収となりました。

電源ソリューション市場につきましては、自家発電機用の自動運転装置や始動用電源などの売上は堅調に推移したものの、バッテリー式フォークリフト用充電器や無停電電源装置などの売上が減少し、減収となりました。

EMS市場につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自動車メーカー様の生産調整の影響により、自動車向けプリント基板実装の受託が減少し、減収となりました。

(その他)

当事業の売上高は10百万円、営業利益は1百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は131億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億75百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が10億16百万円、仕掛品が2億13百万円、商品及び製品が1億71百万円、原材料及び貯蔵品が1億68百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が33億3百万円減少したこと等によるものです。

負債は82億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億15百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が12億38百万円増加した一方で、未払法人税等が5億81百万円、電子記録債務が5億22百万円、未払金が5億6百万円、未払消費税等が3億49百万円、賞与引当金が2億97百万円、支払手形及び買掛金が2億52百万円、長期借入金が98百万円減少したこと等によるものです。

純資産は48億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億59百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が55百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失2億13百万円の計上や配当金1億16百万円の支払い等により利益剰余金が3億24百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階において、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

なお、今期は、現中期経営計画「CA2020」の最終年度となり、次期中期経営計画に向けた今後の成長戦略の検討や、体制づくりを行う重要な年度でもあります。体制面といたしましては、今年4月1日に、中核事業会社であるレシップ株式会社とレシップエスエルピー株式会社を合併し、組織・人・技術の融合を推進しております。当社のコア事業であるAFC（自動運賃収受システム）、新しい事業領域として確立しつつあるTMS（運行管理システム）、そして、伝統的な事業分野であるSLP（表示・照明・電源）、これら3つの事業要素を融合して、世の中が必要とする、新しい商品・システムの開発を進め、次期中期経営計画を見据えた足場固めを行ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,249,801	3,266,018
受取手形及び売掛金	6,026,429	2,722,636
商品及び製品	618,217	789,538
仕掛品	652,739	866,482
原材料及び貯蔵品	1,194,824	1,363,170
その他	491,105	452,419
貸倒引当金	△85	—
流動資産合計	11,233,032	9,460,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,298	891,587
その他(純額)	922,569	860,625
有形固定資産合計	1,787,867	1,752,213
無形固定資産		
投資その他の資産	664,759	687,098
投資有価証券		
投資有価証券	498,259	576,708
その他	660,409	692,292
貸倒引当金	△52,350	△52,050
投資その他の資産合計	1,106,318	1,216,950
固定資産合計	3,558,946	3,656,262
資産合計	14,791,978	13,116,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,540,311	1,287,505
電子記録債務	1,788,619	1,266,493
短期借入金	1,490,887	2,729,575
1年内返済予定の長期借入金	448,500	415,101
未払法人税等	587,727	5,862
賞与引当金	505,345	207,669
製品保証引当金	111,358	102,256
受注損失引当金	88,833	70,838
その他	1,893,261	1,061,535
流動負債合計	8,454,841	7,146,838
固定負債		
長期借入金	437,443	339,043
従業員株式付与引当金	161,870	169,026
役員報酬BIP信託引当金	121,032	121,032
退職給付に係る負債	32,330	33,890
その他	506,454	488,437
固定負債合計	1,259,129	1,151,429
負債合計	9,713,971	8,298,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,955	1,190,955
資本剰余金	1,202,890	1,202,890
利益剰余金	3,040,015	2,715,569
自己株式	△597,397	△596,331
株主資本合計	4,836,464	4,513,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,942	135,029
為替換算調整勘定	161,600	170,147
その他の包括利益累計額合計	241,543	305,176
純資産合計	5,078,007	4,818,259
負債純資産合計	14,791,978	13,116,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,914,813	2,831,236
売上原価	3,687,898	2,290,813
売上総利益	1,226,914	540,422
販売費及び一般管理費	926,089	812,719
営業利益又は営業損失(△)	300,824	△272,297
営業外収益		
受取利息	70	30
受取配当金	4,872	5,989
助成金収入	—	7,003
その他	2,255	5,693
営業外収益合計	7,199	18,716
営業外費用		
支払利息	10,225	6,718
為替差損	13,407	7,314
債権売却損	73	4
その他	2,008	2,414
営業外費用合計	25,715	16,451
経常利益又は経常損失(△)	282,308	△270,031
特別損失		
減損損失	18,322	1,488
固定資産廃棄損	269	142
投資有価証券評価損	19,920	—
特別損失合計	38,511	1,630
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	243,796	△271,662
法人税、住民税及び事業税	27,758	3,940
法人税等調整額	111,119	△61,994
法人税等合計	138,877	△58,053
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,918	△213,608
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	104,918	△213,608

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,918	△213,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,237	55,087
為替換算調整勘定	△304	8,546
その他の包括利益合計	4,932	63,633
四半期包括利益	109,851	△149,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,851	△149,974
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、特定子会社であるレシップエスエルピー株式会社を吸収合併消滅企業とし、レシップ株式会社を吸収合併存続企業として2020年4月1日付で吸収合併を行った結果、レシップエスエルピー株式会社は消滅いたしました。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,476,088	1,427,878	4,903,967	10,845	4,914,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,476,088	1,427,878	4,903,967	10,845	4,914,813
セグメント利益	268,220	44,915	313,135	1,847	314,983

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	313,135
「その他」の区分の利益	1,847
全社費用(注)	△14,158
四半期連結損益計算書の営業利益	300,824

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、18,322千円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,757,908	1,062,455	2,820,364	10,871	2,831,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,757,908	1,062,455	2,820,364	10,871	2,831,236
セグメント利益又は 損失(△)	△215,009	△42,204	△257,214	1,188	△256,026

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△257,214
「その他」の区分の利益	1,188
全社費用(注)	△16,270
四半期連結損益計算書の営業利益	△272,297

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、1,488千円の減損損失を計上しております。